

市民の声で変えよう！弥富市政を！

みなさんの小さな声こそが「市政改革」のスタートです！
大きな花を咲かせましょう

ニュースレター
2021.7.1 No.5

発行人:弥富市議会議員 佐藤仁志

弥富市議会6月定例会本会議で以下の2点について質問しました。

- ① JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業の事業計画の透明性と説明責任
- ② 弥富市役所の組織運営と将来の市民への責任

一般質問動画はこちらから→



- ① JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業の事業計画の透明性と説明責任

不透明で効果が薄い 直ちに中止して 市民意見で見直すこと

【不透明さ】-合理的な説明も 成果の予測も 無い計画-

46億円の駅事業には投資に見合った成果が必用です。①前提条件、②達成すべき状態、③事業効果が数量的に明確であること、④他都市の状況、⑤他の方策が比較検討されたか？について質問しましたが、回答は「駅前再開発プロジェクトチーム、自由通路単独案、踏切改良を検討したが費用が大きくなり長期間がかかる」という経緯の説明に終始し、数値を伴う具体的な説明はされませんでした。

【効果の薄さ】-にぎわいも 人の集まりも 不十分な事業-

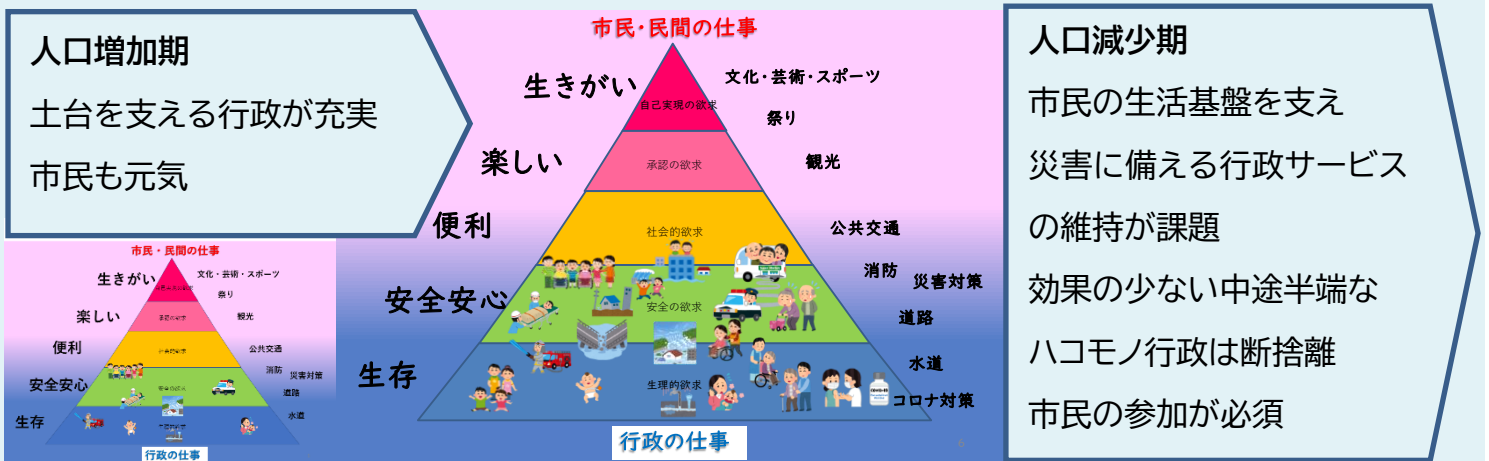
駅事業の目的である、にぎわいも人口増加も、駅事業だけでは達成できないのでは？という質問に対しては、「自由通路整備事業だけでは、効果的なにぎわい創出をもたらすことができないとは考えておりません。駅周辺地区および車新田地区において、新たな住宅用地の供給や商業機能の充実などを図る」という回答。順番が逆であることが明らかになりました。

まずは効果の乏しい駅事業を一旦中断して、効果が見込める事業に見直すべきです。

【検証不能の事業方式】-お任せのどんぶり-

鉄道事業者でなければ設計できないとして、弥富市は事業費内訳の説明もできません。今後もJR・名鉄の都合で施工内容や施工単価が非公開のまま進んでしまう問題点に対して「鉄道事業者を確認し、公共事業としての透明性を図っていきたい」という形式的な回答でした。名目上弥富市が事業主体と言いつつながら実態は鉄道事業者が言うが儘でズルズルと進むことが明らかになりました。

市民の願い 行政の仕事は 生活の土台づくり



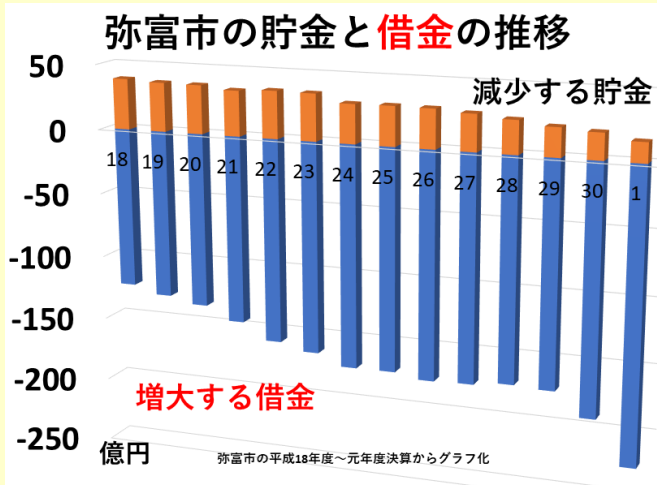
②弥富市役所の組織運営と将来の市民への責任

予算は必要なことに集中 人を活かす弥富市へ

【ひと】－職員が仕事に誇りをもてる経営改革を－

人事異動に継続性が無いため業務に支障をきたしていることについて「市長が自ら積極的に職員と対話し、その中で問題点等を洗い出し、スムーズな行政運営が可能となるよう、意見交換をする」との回答でした。市長はもっと職員の自発性に任せるべきです。職員が上司よりも市民を見て仕事に専念できるようにして、行政組織としてのレベルが上がるように、経営改革をすることが急務です。

【かね】－過去の補助金頼みの行政から脱皮を－

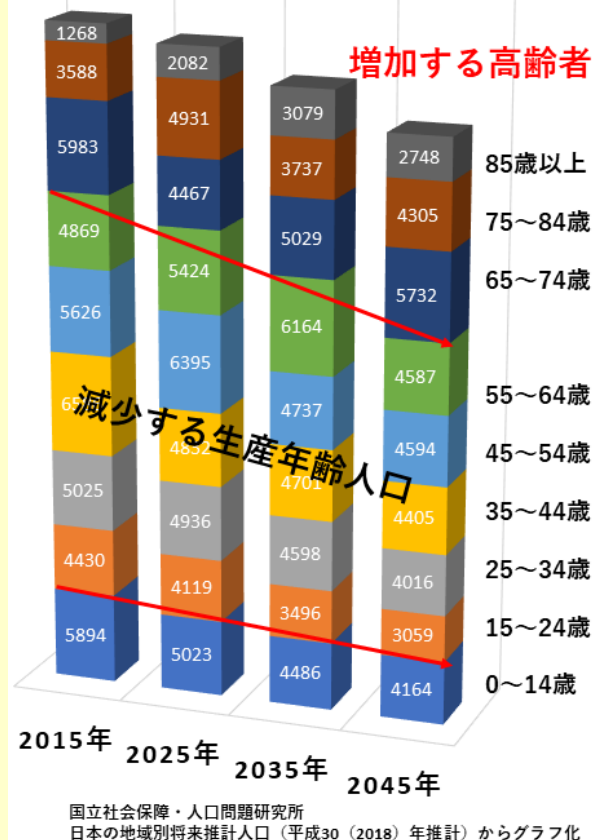


過去には先行的に、医療や子育てなど行政サービスが充実し、多くの人々を引きつけてきました。

合併により、財政強化を進めるはずの期間に、貯金を減らして借金を増やしてしまいました。

転換期の弥富市長として、増えすぎている投資的事業のコントロールについて質問しましたが、具体的な方針等は示されませんでした。

弥富市の将来人口推計値



【計画】－市民の要望を最優先に－

総合計画のアンケートで市民が望むのは、「まちのにぎわい」より「防災」でした。その後の予算で防災についての取り組みがあまり目立っていないという質問に市長は「限られた予算の中で、市民の皆様が安全に安心して送らせていただけるよう今後も気を引き締めて努めてまいります。」との回答でした。

鉄道事業者よりも、市民の声を最優先にして、精神論でなく計画的な行政運営を望みます。

市民参加・公開の場・透明性を確保して決定

私は、市民が当事者意識を持てる弥富市になることを望みます。市民が政策決定に参加することは、弥富市に住む一員として、責任の一端を自発的に受け止めるともいえます。市民が大切なことの決定に納得できるように最善を尽くします。

佐藤ひとし市政報告会を
インターネットで開催します
日程等はホームページでお知らせします
ぜひ、ご参加をお願いします



QRコード

ホームページ <https://satohitoshi.info> E-mail : mail@satohitoshi.info

発行人:弥富市議会議員 佐藤仁志
愛知県弥富市五之三町福島 46 番地
携帯電話 : 090-6073-2413